

### トピックス

#### インフルエンザ総合対策

秋から冬に季節は移り、街なかの小さな秋を楽しんでいるうちに、時間は容赦なく過ぎ去っていきような気がします。さて、冬といえばインフルエンザ。愛知県では今シーズン最初の、定点医療機関からのインフルエンザ報告がありました。来るべき流行に対し、十分な備えが必要です。厚生労働省より「栄養、睡眠、予防接種で三位一体。インフルエンザ予防」を評語とする**インフルエンザ総合対策情報**<sup>\*1</sup>が出されています。特にその中にある「インフルエンザ施設内感染予防の手引き」は良くまとめられていて、「敵と己を知り」、「備え」、「行動する」という、感染症対策の基本戦略にそった取り組みが書かれています。

具体的には、施設に感染症対策の核となる委員会を設け、施設内感染リスクの評価と、感染対策指針の作成と運用、職員教育などを行ないます。感染対策は、発生予防（事前対策）とまん延防止（発生時の対応）からなり、発生予防としては、1) インフルエンザの地域における流行状況と施設内の感染状況を把握し、2) 施設内へのインフルエンザ持込を防止するために、「人から人」への飛沫感染対策を行ないます。そのためには、入所者のみならず施設従業員の健康管理と（12月中旬までに）ワクチン接種を行い、面会者からの感染にも備えます。まん延防止対策としては、発生の確認、適切な医療の提供、個室での医療の提供、医療機関への患者転送システムの確保、感染経路拡大の遮断、積極的疫学調査の実施、行政機関への連絡・支援の要請などが含まれています。

愛知県衛生研究所のホームページには、インフルエンザ、鳥インフルエンザ、SARSなどインフルエンザ関連情報に関するリンク集<sup>\*2</sup>があり、随時更新していますので、ご利用ください。

\*1 <http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1.html>

\*2 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf\\_links.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)

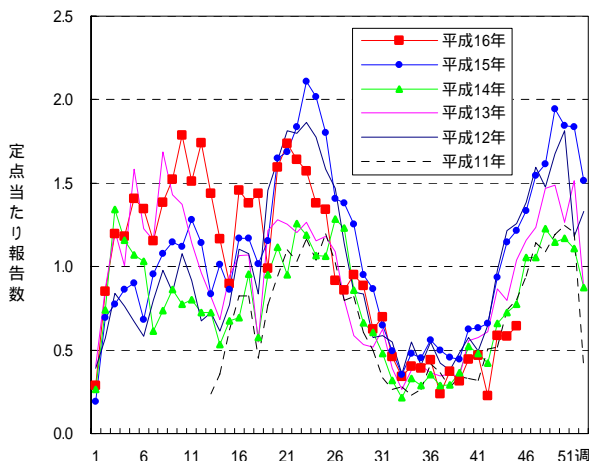
(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

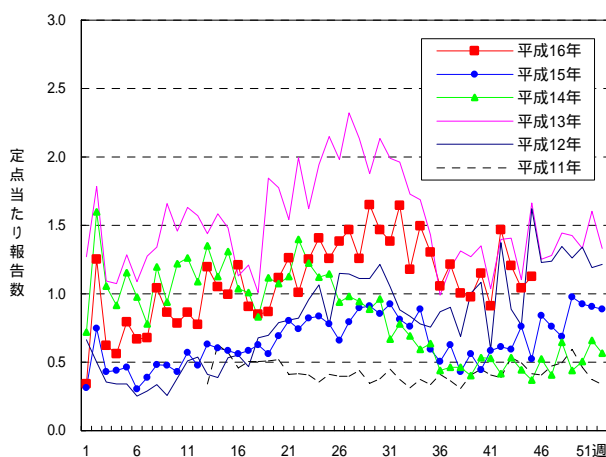
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html))

### 流行状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



10 月の一～五類感染症 ( 全数把握対象 ) 発生状況

		平成 16 年 10 月			平成 16 年度 累 計 ( 愛知県 )	備考 ( 10 月 )
		県 分 ( 名古屋市除く )	名古屋市	愛知県		
一類 感染症						発生報告無し
二類 感染症	コ      レ      ラ				5 [ 1 ]	
	細 菌 性 赤 痢	2		2	18	
	腸   チ   フ   ス		1	1	6	
	パ   ラ   チ   フ   ス	1		1	7	
三類 感染症	腸管出血性大腸菌 感            染            症	5	5 ( 3 )	10 ( 3 )	154 ( 35 )	O26    1 件 O157   9 件
四類 感染症	A   型   肝   炎				8	
	オ   ウ   ム   病		1	1	1	
	Q                    熱	1		1	2	
	つ   つ   が   虫   病				1	
	デ   ン   グ   熱	1		1	4	
	マ   ラ   リ   ア	2		2	2	
	レ   ジ   オ   ネ   ラ   症		1	1	9	
五類 感染症	ア   メ   ー   バ   赤   痢		3	3	30	
	ウ   イ   ル   ス   性   肝   炎 ( E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く 。 )				3	
	急            性            脳            炎				4	
	ク   ロ   イ   ツ   フ   ェ   ル   ト ・ ヤ   コ   ブ   病				3	
	劇   症   型   溶   血   性 レ   ン   サ   球   菌   感   染   症				2	
	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	1	4	5	47	A I D S   1 件 無 症 候 性   4 件
	ジ   ア   ル   ジ   ア   症				1	
	髄 膜 炎 菌 性 髄 膜 炎				1	
	梅                    毒	2	4	6	24	早 期 顕 症   5 件 無 症 候 性   1 件
	ハ   ソ   コ   マ   イ   シ   ン   耐   性 腸 球 菌 感 染 症				1	

( ) 内は無症状病原体保有者  
[ ] 内は疑似症者の再掲

## 五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 16 年 10 月			平成 16 年 9 月		
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	120	33	153	128	41	169
2	性器ヘルペスウイルス感染症	22	7	29	29	7	36
3	尖形コンジローマ	32	14	46	29	10	39
4	淋菌感染症	65	22	87	102	25	127
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	70	15	85	64	6	70
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						
7	薬剤耐性緑膿菌感染症	1		1			

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症:51、基幹:13医療機関)で把握したものです。

### 感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

#### 【対象疾病】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で定める86疾病

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

病原性大腸菌O1 2歳女、3歳女、12歳女  
病原性大腸菌O6 4歳男、64歳女  
病原性大腸菌O18 2ヵ月男  
病原性大腸菌O25 10歳女  
サルモネラO7 10歳女  
パラインフルエンザ増加中  
【尾西市 城後小児科】  
咽頭炎、頭痛、嘔吐を主訴とする感冒が目立ちます。  
【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎がやや多いです。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
ウイルス性胃腸炎が増えてきました。  
3ヵ月児の百日咳あり。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
20歳女 カンピロバクター検出  
【春日町 丹羽医院】  
41歳女 マイコプラズマ肺炎  
【師勝町 田中クリニック】

### 尾張東部地区

特別な感染症はありません。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
アデノウイルス感染症がみられます（高熱が持続する症例が多い）  
その他溶連菌感染症、水痘散発  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
ムンプスがまだ多いようです。  
【春日井市 春日井市民病院】  
水痘とムンプス続いています。  
胃腸カゼが増えてきました。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週は、感染性胃腸炎が多く見られました。  
【春日井市 かちがわ北病院】  
咳が長引く例が目につきます。  
咽頭違和感があります。  
【春日井市 竹内医院】  
感染性胃腸炎やや増加  
RS感染出現  
【小牧市 小牧市民病院】  
溶連菌感染症が増えてきました。  
【東海市 小児科ハヤカワ医院】

### 西三河地区

0歳男 病原大腸菌O6  
29歳女 病原大腸菌O18 + カンピロバクター腸炎  
1歳男 病原大腸菌O1  
4歳男 サルモネラ腸炎O9  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
10歳男 サルモネラO9群(+)  
【岡崎市 花田こどもクリニック】

1歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)  
1歳女 病原性大腸菌O25 VT(-)  
1歳男 病原性大腸菌O78 VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】  
5歳男 マイコプラズマ肺炎  
5歳男 病原大腸菌 O1  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
今週は胃腸炎、水痘が多く見られました。  
【西尾市 山岸クリニック】

### 東三河地区

感染性胃腸炎が増えてきました。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
保育園児を中心に嘔吐、下痢の患者さんが増えています。  
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

2歳女 マイコプラズマ肺炎2名  
【豊橋市 野村小児科】  
10ヵ月男 下痢(++) E.coli(O6)  
【田原市 かわせ小児科】

## 一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

コレラ

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-2>)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	豊川	66	女	10/31	11/1	11/5	疑似症	推定感染地域 インド

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

後天性免疫不全症候群 1 例 (A I D S、推定感染経路：不明、推定感染地域：ブラジル)  
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-7>)

\* レジオネラ症 1 例 (54 歳、46 週報告分)  
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/leg.html>)

J R の駅の改札口の隣に大輪の菊の鉢が並べられています。筆者の狭い庭でも白や黄色の小菊が咲き、もう少し手入れしてやれば良かったのにと横着な主人が悔やんでいます。いつも貴重な情報を有難うございます。10 月後半のまとめをお送りします。

1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはクル - プ症候群（重症で要入院多い）や肺炎、気管支炎といった下気道感染症増加、マイコプラズマ肺炎の入院はコンスタントに多く、ヘルパンギーナや手足口病は殆どなし、城北病院渡辺先生からは熱発患者がやや増加傾向で急性胃腸炎（口夕の陽性者はいないが嘔吐が主症状の患者散見発、増加する？）と 3 歳以下の喘息様気管支炎で R S ウイルス陽性例増加、ムンプス（地域的なものか）がやや多い、他に生後 1 ヶ月の大腸菌による髄膜炎、3 ヶ月の B 群溶連菌による肩関節炎、不全型の川崎病が少々、第二日赤岩佐先生からはムンプス多発（入院例目立つ）、R S 陽性の患者さんも散発、ロタウイルス腸炎が入院、千種区今枝先生からは特に目立つものなし、三菱病院入山先生からはムンプス 3 名、A 群溶連菌咽頭炎 2 名、水痘 1 名、マイコプラズマを含む肺炎は 6 名と目立ち、気管支喘息（気管支炎併発）の短期入院数名、中京病院柴田先生からは嘔吐・下痢症が少し出ている、R S ウイルス感染（要入院）が少し出始めている、労災病院山田先生からは外来ではムンプスが多発、入院患者ではアデノウイルス扁桃炎、ムンプス、胃腸炎が目立つとのことのお手紙でした。

2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染症が極めて少ない中、感染性胃腸炎、水痘、手足口病（78 歳女性）ムンプスの散発あり、常滑市民病院上田先生からは水痘、突発性発疹、感染性腸炎（サルモネラ、ウイルス性）が目立ち、入院ではマイコプラズマ肺炎、気管支炎、感染性腸炎による脱水、インフルエンザ桿菌による気管支炎、仮性クル - プなどが目立つ、とのことのお手紙でした。

3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは喉頭炎、喘息性気管支炎増加、喘息発作の入院も増えてきた、加茂病院梶田先生からはムンプスがやや多く、喘息がらみの入院が多く、百日咳 2 例（生後 1 ヶ月の例は無呼吸で来院し人工呼吸管理を要した）、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎が時々みられる程度で他の感染症は殆どなかった、碧南市永井先生からはムンプスと水痘が散発、豊橋市からは手足口病、ムンプス、ヘルペス性口内炎などいずれも少数例（市内長屋先生、宮澤先生）とのことのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2004 年 10 月 8 日（79 巻 41 号）<http://www.who.int/wer/2004/wer7941/en/>

インフルエンザワクチン。2005 年流行期ワクチンのワクチン株：WHO の 05 年 5 ~ 10 月、南半球冬期のインフルエンザワクチン株の推薦組合せが発表された。この勧告で次の北半球冬期（05 年 9 月 ~ 06 年 4 月）のワクチン組合せも決まる予定。最近の流行・ウイルス分離状況の概略：04 年 2 ~ 8 月の発生では北半球各国で A（H3N2）の流行、南半球でも A（H3N2）の

小規模発生があり、A (H1N1) と A (H1N2)<sup>\*3</sup> の発生は英国とフィリピンで、B 型はブラジルで 6~7 月に流行、欧米諸国やアフリカ、日本を含むアジア・太平洋地域でも分離された。病原性鳥型ウイルス A 型 (H5N1) と A 型 (H7N3) がベトナム、タイ、カナダで分離されたが人から人への伝播は明確ではない。流行・分離株の抗原分析から WHO は 05 年南半球流行期のワクチン株組合せは A / ニュ - カレドニア / 20 / 99 (H1N1) + A / ウェリントン / 2004 (H3N2) + B 上海 / 361 / 2002 ないし各類似株を推奨している。

ヒトアフリカトリパノソ - マ症 (HAT。注：ツェツェ蠅が媒介する原虫感染症、牛などの家畜や野生動物も感染。急性・亜急性に進行する意識障害、痙攣、昏睡から死亡に至る重症感染症。通称「睡眠病」。抗米虫剤有効)。南ス - ダンにおける緊急事態：HAT はサハラ砂漠南縁諸国で公衆衛生上の大問題であるが、南ス - ダンでは 1960 年代には早期診断・早期治療プログラム進捗で減少傾向を示していた。その後内戦による大量の難民発生と衛生状況破綻の結果再び流行のきざしがあり、隣接諸国との国境地帯が問題となっている。1997 年からインタ - ナショナルメディカルケア (NGO) の医療チームが調査と治療を開始、2000 年から他の NGO が引継ぎ、03 年 12 月から WHO が調査チーム派遣、事態の緊急性から緊急活動開始。南ス - ダン 3 地区の実態把握、保健センターの再建と薬剤供給、保健スタッフ教育、加療と追跡、WHO 以外の組織との連携、現地への技術移転、などを中心に活動が進められている。

10 月 1 日 - 7 日届出。コレラ：ギニア。

\*3 <http://www.tokyo-eiken.go.jp/./IDSC/infnews/2001/p16.html>

#### 2004 年 10 月 15 日 (79 巻 42 号) <http://www.who.int/wer/2004/wer7942/en/>

鳥型インフルエンザ。タイ：04 年 10 月 4 日、タイ公衆衛生省は鳥型インフルエンザ A (H5N1) 感染確認例 1 例を追加発表した。北部タイ居住の 9 歳女、9 月 23 日に発病、27 日入院し 10 月 3 日重症呼吸器症状から死亡。推定感染源は病気の鶏との接触 (料理で羽根をむしったりしている)。WHO は流行国における一般向け教育活動を重視 (特に僻地) 病鶏との接触に注意するよう強調している。本年当初からタイでは 16 例の確認例 (11 例死亡) が発表され、内 4 例が最近 5 週間に発病している。家族内集積の発生が 1 事例あり、人から人への伝播が疑われたが遺伝子レベルの検索は国際機関で実施中で、その他の事例では人 - 人感染が疑われる例は未だない。WHO は ウイルス遺伝子の変化の検索のため発生国から国際研究ネットワーク機関への感染鶏と患者材料の搬送。大流行にそなえて各ワクチン製造機関における小規模接種試験を含む新型ワクチンの開発、試作を急ぐこと、行政当局とワクチン製造担当部門の連携、重点地区の検討、などを重点としている。

ポリオウイルス。世界ポリオウイルス検査室ネットワーク会議。04 年 9 月 6 - 8 日：ジュネーブ、WHO 本部で開催。現在全世界で 145 機関指定。96% が活動中で全機関が WHO の標準指針に合格している。WHO からの勧告として a ウイルス検出の迅速化、b 生ワクチン中止とワクチン政策の検討、の二点が緊急課題として提言されている。

食品安全監視員世界会議。タイ・バンコク：10 月 12 日 - 14 日開催。参加国は 100 カ国以上、300 名以上の専門家出席。現在、世界全体で毎年 20 億人以上の食品による患者が発生しているが食品安全問題の重要性は今後さら増大すると思われ、今回の会議では米合衆国食品農業機構 (FAO) と WHO が食品安全に関する重点的課題を地球規模で設定して作業を開始することが決められた。現在 102 カ国が国際食品安全担当者ネットワークに登録しており、今後の食品関連の問題に対応することが期待されている。

10 月 8 - 14 日届出。コレラ：チャド、コンゴ、ギニア、インド。黄熱：ブルキナファソ。







愛知県感染症情報

2004年第1週～第45週(平成15年12月29日～平成16年11月7日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	236	37,703	2,797	8,051	32,566	10,143	1,939	2,658	5,609	130	132	7,128	58	8,920	28	1,407	12	23	243	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	205	29,467	2,142	5,465	22,443	8,194	1,579	2,058	4,441	115	67	5,504	58	7,124	19	1,116	12	23	241	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	31	8,236	655	2,586	10,123	1,949	360	600	1,168	15	65	1,624		1,796	9	291			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	36	1,855	185	688	1,384	527	54	203	282	11	5	479	7	345	4	25			51		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	107	202	2,243	536	38	70	156	6		198		469		79		6	52		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	25	86	921	194	19	102	69		2	175		102		40					
尾張西部	16	12	3	4	1	10	2,133	239	489	2,564	667	343	96	426	3	2	306	3	614		49	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	21	2,832	280	644	1,428	873	91	259	408	12	6	449	3	785		49	3	14	2		
	6	6	1	2			1,109	91	604	1,953	713	46	111	371	6	3	348	2	428		60					
知多半島	6	6	1	2	1	6	1,060	108	298	744	377	45	139	216	4	2	162	3	447	2	9			5		
	7	7	2	2		27	1,701	314	243	1,841	677	118	239	336	1	1	304		677	3	14					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	50	457	550	790	185	140	502	8	5	461	4	507	2	58					
	11	11	2	4	1	3	3,208	161	461	1,228	680	250	146	428	6	4	432	7	1,033		84			18		
	5	5	1	2	1	2	864	33	186	791	279	100	124	201		1	201	7	445		47					
西三河北部	8	8	2	3	1	71	2,969	139	319	2,636	658	109	165	319	51	35	527	10	752		474		1	40		
	3	3		1		2	414	39	80	460	137	26	54	57			66		69							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	92	462	2,391	483	104	65	385	4		697	11	178	2	83	7		42		
	9	8	1	2	1	19	1,967	270	242	1,286	561	42	141	263	3	1	690	1	238	6	45	1	2	30		
東三河北部	2	2			1		163	9	4	23	42	9	4	22			9		35							

愛知県感染症情報

2004年第1週～第45週(平成15年12月29日～平成16年11月7日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	205	29,467	2,142	5,465	22,443	8,194	1,579	2,058	4,441	115	67	5,504	58	7,124	19	1,116	12	23	241	0	0
～6ヶ月	75	277	7	15	311	222	26	8	364	35		40		2		12					
～12ヶ月	63	616	59	26	1,448	530	81	45	2,551	14	5	369	11	42		14					
0歳																	5	3	2		
1歳	37	2,092	311	137	3,225	1,534	358	108	1,397	4	10	1,501	16	355	1	54			19		
2歳	10	1,947	332	254	2,399	1,351	286	139	104	2	7	1,114	7	599		40			14		
3歳	8	2,114	397	599	2,284	1,569	249	227	13	4	2	1,013	2	1,104	1	51		1	28		
4歳	4	2,528	353	1,057	2,101	1,400	226	301	4	3	5	722	6	1,465	1	55		1	25		
5歳	6	1,739	277	1,080	1,738	774	152	394		3	1	374	3	1,387	1	52					
6歳	2	1,342	113	752	1,194	354	65	289	1	6		168	2	716		30					
7歳		1,110	90	482	976	166	47	190	2	1	3	89	2	445		18					
8歳		966	50	284	722	94	21	136	1	2		34	1	330		10					
9歳		1,056	43	203	665	47	16	88	1	1	1	27	1	211		6					
5歳～9歳																		3	66		
10歳～14歳		4,275	53	305	1,500	81	26	88	2	1	2	34	3	279		30		4	45		
15歳～19歳		1,952	4	36	516	12	2	3			2	4	2	33		17			4		
20歳～			53	235	3,364	60	24	42	1	39	29	15	2	156			7				
20歳～29歳		2,465													2	153		4	4		
30歳～39歳		2,410													5	267		5	13		
40歳～49歳		1,051													2	74			7		
50歳～59歳		626													3	83		1	4		
60歳～69歳		455													2	93			6		
70歳～															1	57					
70歳～79歳		265																	1		
80歳以上		181																1	3		